宇宙の学校ちば校第二回スクーリング実施報告

８月２５日（日）、千葉市若葉区の植草学園大学にて、「高く飛べ！水ロケット！」を実施いたしました。児童４２名（キッズボランティア２名を含む）に、保護者および同伴幼児も加えて約９０名が参加しました。運営スタッフは大学生、キッズボランティアを含め１３名です。大学キャンパスが工事中ということで、いつもと違う導線に先遣スタッフは大混乱でしたが、何とか定刻にスクーリングを開始することができました。工作の前はいつものように花嶋洋生さんから宇宙・天文関連のトピックスについてのお話しです。今回のテーマは今年宇宙開発関連でもっともホットな話題となった「はやぶさ２」。「はやぶさ２」のミッションが生命の起源をさぐることにあるということも含めてやさしくお話いただきました。

水ロケット作成の講師は今年も三好肇さん。大ベテラン、三好さんの説明に従って親子でわいわいガヤガヤと１時間ほどでロケット作りを完了。熱中症への注意喚起を徹底したあと、発射を待ちきれない様子で発射場のグラウンドに急ぎます。今年からグラウンドでの発射指揮は花嶋さんにお願いしました。三好さんのサポートを得ながら、てきぱきとした花嶋さんの指示に従って第一回目の発射。いつもの大歓声がグラウンドに響きわたりました。天気もよく、風もない絶好のコンディションでした。ただ、昨年までと違うグラウンドコンディションで発射場所を直前に移動しなければならなくなったりして余計な時間を食ってしまい、残念ながら１回の発射で時間切れ。現場の事前確認等で来年以降へ課題を残しました。

親子ともどもちょっぴり欲求不満気味な面持ちで教室に帰って来ましたが、終わりの会では我も我もと１０以上の児童が感想を発表してくれ、口々に「思ったよりよく飛んでびっくりした。」と満足げな様子。我々スタッフもほっとしました。

今回２名のキッズボランティアが参加してくれましたが、こちらの指示待ではなく、自ら「他に手伝うことはありませんか？」と問いかけてくれる等、大変頼もしく感じました。大学生スタッフも大活躍してくれましたが、この炎天下では高齢スタッフは無理がきかず、若返りが喫緊の課題であることを今回も痛感させられた夏のスクーリングとなりました。

（遠地）